



も り

2025. 7 No. 112

国 有 林

- ・北海道国有林における緑の普及事業（技術普及課）
- ・「社会貢献の森」の取組を紹介（日高南部森林管理署）
- ・こんにちは森林官です！（門別森林事務所）
- ・若手職員のコーナー（森林技術・支援センター）
- ・センター通信（石狩地域森林ふれあい推進センター）

林野庁



北海道森林管理局

北海道国有林における緑の普及事業

森林整備部技術普及課

北海道森林管理局では、地元小学校等との連携による「森林教室」や、地域のイベントへの参加等を通じ、森林環境保全等に関する普及啓発を行っています。

北海道森林管理局（ウッディホール）でのイベント開催の様子

森林教室の様子

森林教室・出前授業

北海道森林管理局、各森林管理（支）署及び各森林ふれあい推進センターでは、学校からの依頼に応じて、森林内はもちろんのこと、室内でも森林教室や出前授業を開催しています。

参加者の皆さまに、森林・林業について、少しでも興味を持っていただけるよう、実施内容の工夫に心掛けています。

大型パネルモニター



具体例の一つとして、北海道森林管理局庁舎1階のウッディホール（次ページ参照）を利用し、札幌市内の小学2年生を対象に実施した森林教室について紹介します。

「大型パネルモニター」や「木育コーナー」などを案内して、クイズや測定機器（輪尺）の使用体験、木の特徴や木がどのように加工・使用されているのかを児童たちに説明しました。

樹名板

北海道森林管理局庁舎前の歩道は、いつも通勤・通学者など多くの方々が通行しています。

そこで、地域の皆さまの目に触れ、「樹木に親しみを持ってもらいたい。」との想いから、樹名板を作成して庁舎敷地内の歩道沿いの樹木に設置しました。



木の輪切り板を使用したことで、自然とよく馴染み、温かみのあるものになっています。

また、アイヌ語名を記載したことで、より興味を持って見ていただけるものとなりました。

現在作成中の樹名板についても、順次設置していきますので、是非ご覧になってください。



開放時間
平日 10:00 ~ 15:00

ウッディホール

図書コーナー

木育コーナー

北海道の樹木紹介コーナー

野球バットコーナー

北海道森林管理局庁舎1階には、北海道産の木材をふんだんに使用した「ウッディホール」があり、一般開放しています。

木のプール、ままごとハウスで遊べる「木育コーナー」、動画や漫画、クイズで森林について紹介する「大型パネルモニター」があります。

このほかにも、「野球バットコーナー」や「図書コーナー」、触ることができる木の標本や種子を展

示した「北海道の樹木紹介コーナー」があり、広く森林・林業について紹介しています。

また、不定期ですが、企画展も開催していますので、興味のある方は是非お越しください。



今後の予定

北海道森林管理局では、今年度、以下のウッディホールの企画展、イベントの出展を予定しています。

《ウッディホール企画展》

《イベント出展》

開催月	内容	日にち	イベント名 (場所)	内容
8月	季節のつぶや木展	8月7日	夏休み子ども体験デー 《中央区民センター(札幌市中央区)》	木のコースター作り ほか
10月	木材利用推進月間企画展 きのこの展示会 (10月14日)	9月28日	北海道森林スポーツフェスタin支笏湖2025 《支笏湖畔周辺(千歳市)》	ウッドボウリング ほか
11月	市町村が取り組む森林・林業PR 企画展 (占冠村)	10月	道民森づくりの集い2025 《さとらんど(札幌市東区)》	木のコースター作り ほか

上記以降の予定や具体的な内容は、開催が近づき次第北海道森林管理局のHPでお知らせします。

ワークショップ

北海道森林管理局単独や、関係機関と連携したイベントにおいて、「木の輪切り」、「まつぼっくり」などを利用したワークショップによる子どもたちのふれあいを通じて、森林の魅力を伝える活動も行っています。



木の輪切りペンダント

まつぼっくりで
ミニクリスマスツリー



地域課題の解決に向けた取組

「社会貢献の森」の取組を紹介

日高南部森林管理署

【はじめに】

日高南部森林管理署は、北海道の中央南西部に位置する日高流域の南部に広がる約 13 万ヘクタールの国有林を管理経営しています。東側に急峻な日高山脈が南北に走り、幌尻岳 (2,053m)、カムイエクウチカウシ山 (1,980m)、ペテガリ岳 (1,736m)、神威岳 (1,600m) など 1,500m を超える高峰が連なり、南側は太平洋に面しています。新冠川、静内川、三石川、元浦川など急流河川が多く、豊かな水の供給により漁業や電源開発など地域産業に重要な役割を果たしています。

また、令和 6 年 6 月には国有林の一部が日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されました。

【社会貢献の森とは】

企業や N P O 等民間団体などと森林管理署等が協定を結ぶことにより、企業の社会的責任 (C S R) 活動等を目的とした植栽、保育等の森林整備活動のフィールドとして、国有林を提供するものです。

【取組状況】

当署では、企業等の要請に応じて、次のとおり「社会貢献の森」の協定を締結し、国有林のフィールドを提供しています。

○アオダモ資源育成活動の森



N P O 法人アオダモ資源育成の会では、野球バットの材料(アオダモ)の主産地北海道において、その資源量が減少していることを踏まえ、バット等の運動用具材としての循環利用を目指したアオダモの植樹を通じて、保水力のあるアオダモの特性を活かした自然環境の保全活動を行っています。

○アサヒコンサルタントいこいの森



アサヒコンサルタント株式会社では、地元の新冠町に所在する企業として、植樹活動等を通じて森林の持つ CO₂ の吸収や水資源の涵養機能の理解を深め、社会に貢献することを目標としています。

○2025 王子フォレストリーの森



王子フォレストリー株式会社では、林業を生業とする企業として、社員一同に森林の恵みに感謝する意識を育むことを目的に、植樹活動等を行っています。

【今後の取組】

森林とのふれあいや国民参加の森林づくり、企業の C S R 活動などの国民の多様な要請に応えるため、今後とも国有林フィールドの提供や技術指導を積極的に行っていきます。

こんにちは 森林官です!

日高北部森林管理署 門別森林事務所
森林官 宿南 恭兵 (写真右側)



【地域の紹介】

沙流郡日高町は、北海道日高地方の西部に位置し、市町村合併により、平取町を挟んで山側の日高町と海側の門別町が飛び地合併をした人口約1万1千人の町で、私が勤務する門別森林事務所は海側の門別地区に所在しています。当地区の主な産業は、農畜産業と水産業です。日高地方は、日本一の馬産地として知られ、その重要な一角を占める当地区でも軽種馬の生産がとても盛んです。

さらに、当町のタコの漁獲高は道内でもトップクラスで、美味しいタコ料理を味わうことができます。



門別管内国有林から見る牧場風景

【門別担当区の概要】

森林官（門別担当区）の管轄する国有林野の面積は、約9千8百ヘクタールで、海からの強風を防ぐ防風保安林や、この地に古くから自生するカシワ個体群を保護・管理するための門別カシワ遺伝資源希少個体群保護林などがあります。

また、当担当区の国有林野は里山に位置するため、多くの畑や牧場などと隣接しています。



海岸の防風保安林

【門別森林事務所の業務】

当森林事務所には、勤務3年目となる若手職員がおり、地域事情に詳しく、とても頼りになります。私と彼との2名体制で業務を行っています。

業務内容は森林の現況調査、国有林野の境界の保全管理、森林整備保全事業の監督業務、森林パトロールはもとより、我が国の領海の外縁を根拠付ける離島であり、日高北部森林管理署所管の国有林野となっている門別鼻南小島のドローンによる確認などを本署とも連携して行っています。

また、国有林野の境界の保全管理については、前述した軽種馬の放牧地と隣接する境界もあり、放牧地周辺を歩くことにより軽種馬を驚かせて怪我をさせないように、事前に牧場主との調整が必要な箇所があるなど、日頃から地域の方々の理解と協力を得ることが特に重要となっています。



国有林野の境界の保全管理風景

【最後に】

私は、当森林事務所に勤務して4か月ほどですが、地域の方々を早く覚えるとともに、つながりを大切にして、地域に根差した国有林となるよう若い同僚とともに励んでまいります。

も 森 林 の 話

若手職員のコーナーです

第 36 話
森林技術・支援センター
安田 樹生

新規採用職員として、森林技術・支援センター（以下「技術センター」という。）に赴任して3年目となります。なんとか無事に土別市の厳しい冬も2シーズン乗り越え、これから本格的な夏を迎えようとしています。赴任前まで生活していた東京の気候と比べて、カラッとした北海道の夏は大好きで、今年も思う存分楽しみたいと思います。

今回は、技術センターにおいて実施している、シードトラップを使った種子調査についてご紹介します。

【シードトラップによる種子の回収】

技術センターでは、林業の低コスト化に向けた技術開発とその普及・支援を行っています。

私も業務係として、全道各地の国有林内に設定している試験地調査に同行しています。

その調査の一つに樹木の種子を調べる「シードトラップ調査」があります。天然更新では種子の供給が必要不可欠であり、この調査により種子の発生量を推定することができます。

シードトラップは写真のように、3本の塩ビパイプを地面に挿し、三角帽子をひっくり返したような網を銅線で固定した調査道具です。毎年5月に決まった場所に設置しています。数か月すると樹木の種子が落下、飛散しトラップの中に堆積さ

れ、これを夏と秋の2回、回収しています。回収後は設置箇所毎・種子毎に集計し、データとして蓄積していますが、令和6年度の調査では、これまでで最も多くの種子が採取されました。

【地道な種子の集計】

現在、調査を行っている栗山町の試験地（天然林）では、シードトラップを45箇所を設置しています。採取した種子は、写真のように形や大きさが違うので種子毎にピンセットを使い一つ一つ、分けて数えていきます。種子以外にも葉や昆虫も入り、数えるのにはかなりの時間を要し、仕分けは地味な作業ですが、こうしたデータを確実に蓄積していくことが重要だと考えています。



回収後、種子だけに仕分けた状態

1つのシードトラップで、300 から多いと5,000を超える種子が採取されます。

【最後に】

植物に関する調査は、長い年月をかけて植生等の変化を比較し、評価するものなので時間がかかり、中には20年以上継続する調査もあります。

試験課題により調査方法が違うことから、評価や技術の普及には、それらの調査方法を熟知し、多くのデータと知識が必要だと実感しています。

これからも知識・経験を増やしていき、少しでも調査業務に貢献できるよう、取り組んでいきたいと思っています。



設置後のシードトラップの様子



石狩地域森林ふれあい推進センター

石狩地域森林ふれあい推進センターは、豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた山岳林等にある定山溪国有林と都市近郊の丘陵森林である野幌国有林をフィールドとして、各種活動を行っています。今回は、昨年度実施したイベントのうち、いくつかを紹介します。

【森林教室】

定山溪小学校と定山溪中学校の合同で、年5回の森林教室及びその森林教室での成果を発表する「森づくり発表会」を開催しました。

1回目は、定山溪三笠緑地で植生の開花調査を行いました。2回目は、カミネッコンを用いてポット苗の作製と植樹などをしました。4回目は、エゾシカ食害防止保護管による天然生若木の保護と野鳥の巣箱設置等を行いました。

また、森林教室での成果については、12月の「森づくり発表会」において、父兄や地元の方々に向けて発表しました。



第2回カミネッコンを用いてポット苗を作成

【野幌森林づくり塾】

平成16年の台風被害にあった野幌森林公園の自然再生プロジェクトの一環として、市民の皆さんが森林づくりを体験しながら、森林づくりに関する知識を取得し、森林との関わりなどについて学んでいくもので、接ぎ木体験、外来種の駆除、風倒被害跡地への植樹を実施しました。



風倒被害跡地への植樹

【札幌水源の森づくり】

平成16年度から行っているこの取組は、街の中で一人1本苗木づくり、次代へ引き継ごう「水源の森」として、市民に水と森林の関わりを普及啓発するため、市民による苗木づくり、協力団体による定山溪の国有林への植樹、下刈りを行っています。開催場所である創成川公園において市民約200名に苗木を作成していただき、国有林へ無事に植樹することができました。



市民による苗木づくり

【終わりに】

当センターでは、今後も小・中学生や市民の皆様と一緒に楽しみながら、森林教育・森林再生等に取り組んでいきたいと考えています。

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

雌阿寒岳調査登山に参加



【根釧西部森林管理署】

6月10日、釧路市主催による雌阿寒岳調査登山が実施され、根釧西部森林管理署雄別森林事務所の職員2名が参加しました。この調査登山は、登山ルート及安全確認、注意喚起看板の修繕及び安全ロープ設置などを目的に、当署、環境省釧路自然環境事務所、釧路市阿寒町行政センター、地域おこし協力隊などが連携し、毎年この時期に実施しています。雌阿寒岳には3つの登山ルートがあり、今回は阿寒湖ルートを整備しました。

えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭



【日高南部森林管理署】

6月18日、えりも町有林において、「えりも町」と「えりも岬の緑を守る会」主催による「えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭」が開催されました。町内の小学校4校の児童をはじめ、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、北海道日高振興局、航空自衛隊襟裳分屯基地、北海道森林管理局、当署などから約220名が参加しました。今年が41回目となる植樹祭では、カラマツ400本、カシワ200本を植樹しました。

野付半島の魅力の再発見



【根釧東部森林管理署】

6月5日、野付半島（別海町）にて、職員の野付半島に関する知識向上などを目的に、野付半島ネイチャーセンターのガイドの方を講師として勉強会を開催しました。野付半島は、海流によって運ばれた砂が長年に渡って堆積して形成された砂嘴（さし）でできた国内最大の半島であり、トドマツやミズナラが海水の上昇で枯死した枯死木が立っていることから「トドワラ、ナラワラ」と言われており、道東の観光名所となっています。

「江差北小・中学校一貫砂坂海岸林清掃活動」を開催



【檜山森林管理署】

6月3日、砂坂海岸林（江差町）にて、江差北小・中学校一貫砂坂海岸林清掃活動が開催されました。本活動は、江差北小中学校と当署で結んでいる「遊々の森：なかよし海岸林」協定の取組の一環として、海浜清掃活動を通じて、子供たちにきれいな自然環境を守る意識を持ってもらうことを目的としています。今回は、小学校児童43名、中学校生徒23名、両校の教員25名、当署職員11名の計102名が参加しました。

もり
広報 「北の森林 国有林」7月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>



【今月の表紙 冷水沢川（札幌岳）】

今月は、札幌岳への登山ルートとなる冷水沢川の風景写真を表紙にしました。

透明で清らかな水が流れる川は、ひととき目を引きまします。



今月の表紙